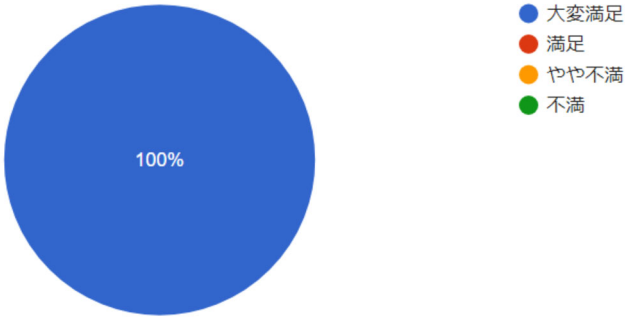
2023年度 教育カウンセリング・オンライン研修講座
参加者感想アンケートまとめ

秋田県教育カウンセラー協会

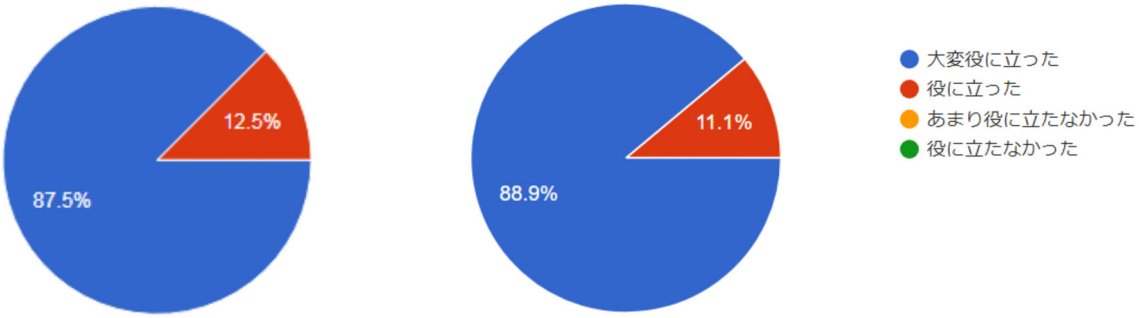
２０２３年１１月１１日（土）
午前の講座（１０：００～１２：３０）
「子どもの自殺のリスクと予防教育について」
講師：川野　健治先生（立命館大学総合心理学部　教授）

午後の講座（１３：３０～１６：３０）
「ソーシャル・エモーショナル・ラーニングの理解と実際
－非認知能力を育てる教育フレームワーク－」
講師：渡辺　弥生先生（法政大学文学部心理学科　教授，
法政大学大学院ライフスキル教育研究所　所長）

◇①研修講座全般について（回答数10名分）



◇②講座の内容について（回答数　午前8名分，午後10名分）
(1)午前の講座の内容について　　**(2)午後の講座の内容について**



◇③講座の内容についての感想
【講座全体を通して】

- 午前も午後も興味深く参加させていただきました。

- 自殺予防教育やノンバルコミュニケーションなど，職場での喫緊の課題について考える機会となりました。

- 午前も午後も，自分にとっては新しい視点が得られました。不登校も自傷も，心の問題を外に表現できているという点で一人で抱え込むよりプラスに捉えられると思いました。過度に大きく扱ったり問題にしたりするのでなく，つらさを言語化など別の形で伝えるスキルをつける支援や，その環境を整えることが必要だと思います。援助，被援助で分けるのでなく，どちらの立場も経験するということが印象に残った。長いスパンで少しずつ取り組むことも意味があると感じました。言語を万能と考えてもうまくいかないし，言語，非言語どちらが重すぎても難しく，結局齟齬が生じます。どちらも人によって受け止め方使い方が違っているということを意識して，どちらも使いながら伝えよう理解しようとするしかないのかなと思います。

【午前の講座「子どもの自殺のリスクと予防教育について」】

- 川野健治先生のご講話からは自殺予防教育の必要性を実感しました。相談することのよさをいかに幼少期から体感できる機会を充実させることが必要だと思いました。しかし，幼少期からマルトリートメント（子どもへの避けたいかかわり）を受けて育ってきた子どもは，他人に相談できそうにもありません。せめて学校教育でできる自殺予防教育を進めていくしかないと思いました。川野先生のお話から大きなヒントをいただきました。ありがとうございました。

- 午前中のみの研修も受けられたことは，私にとっては大変都合がよかったです。
  資料が最新のものであったこと，自分でも日常の業務で使える内容があって，実践を通じて学びを深めて行ける気がします。ありがとうございました。

- 午前中に行われた自殺についての講座は，タイトルからも大変重い印象でありましたが，10 代の若者から成人者まで，幅広い層で事例があり，減る傾向をみせないということでしたので，草花や動物，自然と触れ合う機会を持つことの多い幼い子どもの頃から，命の大切さについて伝えていかなければならないと感じました。

- 川野先生は実践に携わっているわけではないと前置きされていらっしゃいましたが，日常の相談業務や支援に生かせる考え方やご示唆をたくさんいただいたように思います。自殺予防の講義を受けた学生さんは，もしかしたら自分の感想を受け止めてくれるだろうというサインを先生に発したのかもしれません。表面をなでるような言葉の交流ではなくて，かかわるのであれば本音で真剣にかかわり合いたいという切実な思いが文章から伝わってきました。
  自傷行為をしていることや「死にたい」と相談された側は大人でも子どもでも自分では対応しきれないと思ってしまうことがあるでしょうが，「死にたいほどつらい思いをしている」という気持ちには寄り添えるのではないかと思います。生徒同士でも感情面でも助け合える，支え合える関係をつくっていけるアプローチを展開できるとよいと思います。川野先生がおっしゃっていたように，学校という場は重要であり，自殺予防教育についても社会で生き抜くための知識やスキルを身につける機会として意図的・計画的に設けることが大切であると考えます。

- 2，3 年に一度は中高年の自死（男性）を耳にします。（確かに交通事故より多い）
  資料最初の年齢別死因割合や実数をみて，児童の自死も痛ましく，学校教育の場が自殺予防にふさわしいのは明らかだと思いました。
  ブレイクルームで SOS を出せる子はコミュニケーション能力のある子，リスクのある子は面談慣れをしていて，うまくいかないこともあるという話が出て，GRIP のステップに一層興味をもちました。
  1，2 のステップの後，3 の KINO には表情から多様な考え方を知る機会を得ることができそうです。しかめっ面が必ずしも否定ではなく，子ども同士の中だからこそ多様な考え方の一つとして受け入れられそうです。大人なら，相手をあるいは自分を思って言っているんだと気付くこともあると思います。
  ある大学生の感想を含め予防プログラムについて学ぶことができ，大変貴重な時間となりました。ありがとうございました。またお話をお伺いしたいと思いました。

【午後の講座「ソーシャル・エモーショナル・ラーニングの理解と実際
－非認知能力を育てる教育フレームワーク－」】

- 渡辺弥生先生のご講話からは感情の教育の大切さを改めて感じることができました。支援者はまず対象となる子どもの発達段階を踏まえて教育をすることがいかに重要なことか感じました。子どもへの対応については具体的なリソースを踏まえながら自己決定の場を与えることを進めていきたいものです。parfect ではなく Good enough の対応がいかに子どもの人生に影響を与えるか，考えるよい機会となりました。また，社会性・感情力を伸ばす「みらいグロース」の考え方も興味をもつことができました。感情の教育の在り方についてさらに自己研鑽を積んでいきたいと思いました。ありがとうございました。

- 私は応答性というのを大事にして人とかかわっているなぁと思いました。児童生徒たちに対してかかわるとき，応答がないと少し寂しい気持ちになります。今は，みんなへと声をかけるよりも，一人のあなたへと声をかけることが必要なようなので，意識的にやっていく必要がありそうです。また，自習が多かったりと，一見してかかわりを持ちたくなさそうな生徒にも，話題をみつけて声をかけるようにしています。コミュニケーションの足場をかけてあげるためにも，重要に思いました。

- このたびは貴重な機会に参加させて頂きありがとうございました。コミュニケーションツールの変化により対面での伝え合いだけでなく，文字での伝え合いが浸透する現代だからこそ子どもたちに非認知能力を育む機会を作っていく事が必要になると感じました。気持ちを可視化する試みや道案内のトレーニングなど身近にできる手法を知る事ができとても勉強になりました。また沢山の新たな視点を学ぶ事ができ今後子どもや若者との関わりに役立てたいと感じました。本日はありがとうございました。

- 自分の都合ですが疲れがピークの土曜日でした。途中睡魔に襲われ，我ながら情けなくなりました。すみませんでした。先生の言葉を一言も漏らすまいという思いはあったのですが。先生に山形に来ていただいたときに何度かお話を伺い，できる範囲ですが，SC の授業や面接時に使わせていただきました。先生方と生徒たちも，納得してくださいました。とてもありがたかったです。またの機会があれば是非，先生のお話を伺いたいです。貴重な機会を作ってくださったことに，感謝いたします。

- この度の研修講座でも，渡辺先生より実践に生かせる知識と勇気を与えていただいたように思います。少人数であることを生かしたご講義の展開にも，先生の素晴らしさをひしひしと感じました。教え育てる者としてこうありたいと思いました。
  努力したことへのご褒美シールよりも，立体的なスポンジのような「見える化」したものの方がクラスの雰囲気がよくなったことには驚きでした。一人一人の頑張りによりみんなでやり遂げ，喜び合えるというのも，実はクラスの児童同士の関係性ができているからではないかと考えます。そういった意味では，土台となる人間関係づくりから始めることが大切かと思われます。
  オンラインのよさ，対面のよさ，それぞれがあるかと思われますが，次回はまた対面でのご講義で学ばせていただければと思っております。

- かつて秋田の養成講座でご講義いただき，一度で大ファンになりました。またおいでくださらないかなあと首を長～くして待っていました。本当にありがとうございます。その時，先生のお話はまさに私たちが目の前にしている子どもたち，その子どもたちを育てるお母さん方の姿をリアルに捉えていて，だからこそ，そのアプローチも納得いくことばかりでスッキリした～，元気もらった～またお願いします！！と大漁旗の心でした。先生ご自身も働く主婦感たっぷりですごく元気をもらいました。24 時間動いてる？そんな感じがしました。情熱あふれる先生と今の目の前の子どもたちへのセンサーは変わらぬままたっぷりご講義いただきありがとうございました。
  先生からは，目の前の生きている子どもたちの普遍性を的確に捉え切り込んでいく力を感じるんです。子どもたちをとらえながら，感情の耕しを丁寧になさろうとしている熱意を感じます。

少人数だったので先生のリラックスされた雰囲気から，ざっくばらんにお話しても構わないんだなあと重々思いましたが，いつも zoom をしているわけでもないので操作がもどかしく，ごめんなさい。またお話を伺える日を楽しみにしています。

㋃オンライン開催に関するご意見やご要望について

- 少人数でのグループワークがあり，参加者同士で話し合うことができてよかったと思います。
  オンライン開催でしたので，私も参加できました。ありがたかったです。これからもよろしくお願いいたします。研修会の参加者が以前に比べて少なくなっている感はします。今回は少ないメンバーに入れてありがたかったです。山形県でも 11 月 26 日(日)にステップアップ講座をハイブリッドで行います。

- 本日は予測困難な幼児と共に受講となりまして，カメラマイクオフのままの受講で申し訳ありませんでした。その中でも渡辺先生やご参加のみなさまに沢山の学びをいただけた事を心より感謝しております。
  オンライン事業は私のような育児中の者にとっては本当に有難い機会です。開催して下さり本当にありがとうございました。

- 今回は，少人数ということでグループワークをする場面が午前と午後の講座両方に設けられていたので，他者の考え方や意見を聞くことができたり，また自分の考えを話す機会を持てたことは，私にとってとても大きな経験となりました。

- 移動時間も経費も省けるのはオンラインなので，参加しやすいです。

- 多忙な先生方のために，生配信だけでなくオンデマンド配信の必要も感じました。

- 今回初めて本会で主導させていただき，オンラインでの少人数でのグループワークで交流ができたことはよかったと思います。内容や進め方につきまして，今後よりよいものとなるように検討してまいりたいと思います。

- 講師の選出，講座の準備等いつもありがとうございます。もっと多くの人に知ってほしい内容でした。講座のお知らせについては，次回，早めに facebook や Instagram 等も活用してみようと思います。

㋄今後受講したい講座のテーマや講師について

- また渡辺弥生先生のお話を伺える機会がありましたら，参加したいです。

- 「校内暴力」についてもお願いしたいと思います。学校現場での課題になっているような気がします。

- 不登校関係

- ヘルピングスキル，コーチング，認知行動療法 ソクラテス式質問法について

- 人生を恨んで生きている保護者とその子どもたちに対して教育カウンセラーは福祉や医療につなぐためにどのような支援体制をつくり，支援を実行できるか？

―― アンケートにご協力をいただきましてありがとうございました。